

精神疾患の分子・回路病態研究の最前線

日 時：2019年11月5日(火)・6日(水)
開催地：大阪大学蛋白質研究所 本館1階講堂

阪急電車北千里駅から徒歩15分、大阪モノレール阪大病院前から徒歩15分、北大阪急行千里中央駅からバス又はタクシーで15分

11月5日(火)

13:00-13:10 所長挨拶
開会挨拶

中川 敦史 (阪大・蛋白研)
疋田 貴俊 (阪大・蛋白研)

13:10-14:25 セッション1 座長：疋田 貴俊 (阪大・蛋白研)
社会性の発達臨界期の回路機構
社会ストレスによる脳内恒常性変容
恐怖学習を制御するネガティブフィードバック神経回路

森下 博文 (マウントサイナイ医科大学)
古屋敷 智之 (神戸大・医)
小澤 貴明 (筑波大・人間)

14:45-16:00 セッション2 座長：古屋敷 智之 (神戸大・医)
自閉スペクトラム症患者に特異的な POGZ 遺伝子座の de novo 変異の分子病態解析

自閉症関連タンパク質 Neuroligin 3 が担う社会性行動調節の分子機構
病態モデルによる自閉症の分子・ネットワーク解析

中澤 敬信 (阪大・歯)
吉田 知之 (富山大・医)
内匠 透 (理研・CBS)

16:20-17:35 セッション3 座長：吉田 知之 (富山大・医)
X染色体不活性化による MICPCH 症候群での脳機能障害メカニズムの解明
カルシウム依存的神経回路形成・制御と精神疾患
広視野2光子顕微鏡を用いたマウスの大脳新皮質活動の観察

田淵 克彦 (信州大・医)
竹本 さやか (名大・環研)
村山 正宜 (理研・CBS)

- 意見交換会 - (17:40-19:00)

11月6日(水)

9:00-10:40 セッション4 座長：田淵 克彦 (信州大・医)
A role for nucleus accumbens circuit in controlling learning impaired in psychiatric disorders

意欲行動の神経基盤
恐怖記憶の獲得・固定・想起・消去の基盤となる神経ダイナミクス
過剰な攻撃行動に関わる神経回路の探索

Tom Macpherson、疋田 貴俊 (阪大・蛋白研)
田中 謙二 (慶應大・医)
水関 健司 (大阪市大・医)
高橋 阿貴 (筑波大・人間)

11:00-12:15 セッション5 座長：林 朗子 (理研・CBS)
計算論的精神医学：脳の計算モデルを用いて精神疾患の病態に迫る
霊長類の大脳皮質領野形成とその破綻による精神疾患発症メカニズムの検証
Synaptic plasticity: from bench to bedside

山下 祐一 (NCNP)
佐々木 哲也 (筑波大・医)
高橋 琢哉 (横浜市大・医)

12:15 まとめ

林 朗子 (理研・CBS)

【オーガナイザー】 疋田 貴俊 (阪大・蛋白研)、林 朗子 (理研・CBS)

【主催】 大阪大学 蛋白質研究所

【共催】 新学術領域研究「人工知能と脳科学の対照と融合」、
新学術領域研究「マルチスケール精神病態の構成的理解」

【連絡先】 疋田 貴俊 〒565-0871 吹田市山田丘3-2 大阪大学 蛋白質研究所

Tel: 06-6879-8621 Fax: 06-6879-8623 E-mail: hikida@protein.osaka-u.ac.jp

URL: <http://www.protein.osaka-u.ac.jp/seminar/>

参加費無料、事前登録不要